

正

二年 画数 5
 筆順 下 正 正
 オン セイ・シヨウ
 フン ただしい日す・まさ

成の立ち



「あし」のうらのかたちをあらわした「止(止)」とあしをおくいちをしめた「せん(二)」とをくみあわせた字で、「あしをおくところに「ただしく」たつ」ことをあらわした字です。「ただしくたつ」「ただしい」といういみの字です。「ただす」ともつかいます。
 また、「ほんとう」「まさ(ちようど)」というつかいかたもします。(対「負」「邪」「否」)

〔セイは漢音で、シヨウは呉音である。この例は多く「生」「清」「精」「省」などがある。〕

使い方

- ▽「正平」くんは、「正に」そのなのとおり「公正」で、「正義感」のつよいひとです。
- ▽「正月」のはつゆめを「正確」にはおぼえていませんが、よいゆめだったので、「正夢」であってくればよいのつています。

熟語例

- ▽公正(「公明正大」。公平で正しいこと。)
- ▽正義(「正しい義理」。正しい道義。正しい道理)
- ▽正確(正しく確かなこと。)
- ▽正答(正しい答え)
- ▽正解(「正しい解釈」というつかいかたと、「正しい解答」というつかいかたとあります。)
- ▽改正(よくないところを「改め直す」こと。)
- ▽正誤(「正しいことと誤ったこと」といういみと、「誤りを直す」といういみとあります。)
- ▽正午(「午」は「午の刻」で、ひるの十二じのこと。「ちようど十二じ」ということです。)
- ▽正夢(夢にみたことがじつさいにおこったとき、それを「正夢」といいます。(対「逆夢」)

生

二年 画数 5
 筆順 ノー 牛 生
 オン セイ・シヨウ
 フン うむられる・おらう・いひきる
 かすけけるはひえる日やすき・なま

成の立ち



つちのなかから、くさきがめをだしたすがたをあらわした字で、「くさが」「生える(生いたつ)」こと「をあらわした字です。それは「生まれる」ことであり、また「生きる」ことでもあります。

くさが「生える」「くさを」「生やす」
 こが「生まれる」「こを」「生む」
 むしが「生きる」「むしを」「生かす」

よのなかにつくりだされたばかりのしなものを、生まれたばかりの生きものにとえて「生糸」「生酒」といいます。また、「もとのままで、てをくわえないもの」のいみにもつかい、「生肉」「生やさい」など、「生」とよみます。

〔セイは漢音で、シヨウは呉音である。(注「生」)〕

使い方

- ▽生まれたばかりのあかちゃんはそのなまえのとおり、まっかなかおをしています。
- ▽ぼくは、いぬやねこなどの生きものがたいすきです。
- ▽生の肉やさかなをたべると、おなかをこわしてしまいますから、たべてはいけません。でも、おさしみなどなら、だいじょうぶです。
- ▽きをくただしい生活をする、からだがじょうぶになり、びょうきにもかかりにくくなります。

熟語例

- ▽生活(生きて、いろいろな活動すること。くらししていくこと。)
- ▽生命(いのち。生きて、いろいろな活動をするものとなるもの。)
- ▽発生(おこること。生ずること。「だいじけんが発生した」というふうにつかいます。)
- ▽生滅(生まれることと、消滅すること。生まれることと、しぬこと。)
- ▽誕生(生まれること。「私の誕生日は、十二月二十五日です」などというふうにつかいます。)